

## 令和3年度 自己評価並びに学校関係評価報告書

## 1. 本園の教育目標

- ①自分のことは自分でできること
- ②「おはよう」の挨拶ができること
- ③「ありがとう」と、すぐにお礼を言えること
- ④人の目を見て、しっかりとお話を聞けること
- ⑤自分の思ったことを、言葉で伝えられること

集団生活を通して、個々の幼児の自主性を育て、豊かな心、よき生活習慣や人間関係に向かう意欲、態度を培う。環境を通して、頑丈な体を作り、人としての心「素直な心」「くじけない心」「優しい心」「思いやりのある心」を育てられるよう、「バランスのとれた保育と教育活動」を目指す。

## 2. 令和3年度重点的に取り組んだ目標・計画

令和2年度は新たな観点から大きな見直しをした。令和3年度はさらに園生活や行事をもう一步踏み込んで、今までしていた事を当たり前とせず、何故それをするのか？そのねらいは何か？本当にそれは必要か？ねらいと内容はあっているのか？というように根本的な点から園生活を見直し改善した。

学年主任が今まで以上にリーダーシップをとり、各学年の横のつながりを強くし、教員一人一人の考えや意見が生かせる環境を作り、適材、適所でみんなが力を発揮し成長できるようなより良い職場環境を目指した。

## 3. 評価項目の達成及び取組み状況

|   | 評価項目              | 取組み状況   |
|---|-------------------|---|
| 1 | 教育内容<br>(保育の計画)   | <p>保育や行事の計画を立てる時に、これまでの慣例にとらわれず現在の子どもの発達状況をしっかり把握し、無理のないねらいを決めねらいを達成できる保育内容にすることを心がけた。特に行事については、子どもが楽しく取り組めることを大切にした。</p> <p>さらに、保育の振り返りを学年単位でしっかり行い反省点、良かった点をすぐに次に生かした。</p>  |
| 2 | 教育内容<br>(職員体制の充実) | <p>様々なキャリアの教職員が意見を自由に発表でき、それぞれの意見を尊重し合える環境作りや仕事の効率も考え、『①主任会議→②学年会議→③全体会議』という流れを実践していった。全体会議が短時間でも、教職員の意見が反映され情報提供もしっかりでき、協力体制が強化できた。</p> <p>保育においては、新しい事にチャレンジできる環境が出来て来て、教員のモチベーションも高まり、より活気ある保育展開が見られるようになってきている。</p> |

|   |                   |  |
|---|-------------------|--|
| 3 | 地域の幼児教育センターとしての役割 | 預かり保育が6時まで延長された為、預かり保育専任の非常勤1名を増員した。また、コロナ対策で密を避ける必要もあり、人数の多い時間帯は2部屋に分けている。子どもの体力も考えて、しっかり体を動かし、ゆっくり休むというリズムを大切にして、子どもの様子をよく見て楽しくすごせるように配慮して保育をしている。 |
|---|-------------------|--|

#### 4.幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

令和3年度もコロナ渦の一年となったが、この機会をチャンスととらえて、保育の見直しをさらに進めた。また、働き方改革という点も心に留め改善をしていった。

指導教諭や学年主任が一人一人の教員を尊重し、リーダーシップをとって園全体の活動を進めていく事がスムーズに出来るようになってきている。また、各クラスの問題や幼児の問題についても指導教諭を含めて教員全員で情報共有し、共通理解を心がけ、教員の協力や連携によって対処するようにしている。

園内研修においても、各学年の日々の保育の振り返りの時間でも、活発な意見交換が見られる。今後も、さらに同僚性を高める努力をし質の高い保育を目指していきたい。

職場改善の一つとして、令和3年度からホームクリーニングの会社『カバーオール』と契約し、週に1回掃除と消毒をして頂き、教職員は掃除の時間を有効利用することができるようになった。これからも、職場環境を改善していく取り組みを続けていきたい。

#### 5.今後取り組む課題

令和3年度に進めてきた、園生活の様々な見直しやコロナ対策を、今年度も継続していく。

特に、保育においては『何よりも幼児の実態の把握』が必要である事を教職員全員が再認識し、各学年で保育計画を立てる時に、今の子どもに合った『ねらい』となっているか、そのねらいに合った保育内容かをしっかり話し合っ計画し、実践し、振り返り、見直しを次に生かすよう努めていきたい。

また、これらの課題で教員同士で学び合う意識を高めていきたい。

|   | 課題                        | 具体的な取り組み  |
|---|---------------------------|---|
| 1 | 安全管理<br>(施設設備・園児に対する安全対策) | 地震・火災に対する避難訓練は、月1回実施を行なっている。<br>今年度は、水害の時の避難訓練の実施を行ない、様々な観点から検討をし、マニュアル作りを進めていきたい。  |
| 2 | 教育内容<br>(保育の計画)           | 日々の保育や行事を、幼児の発達にあったねらいや内容となるよう、子どもの実態を教職員で十分に話し合い計画をし、見直していく。また、子どもたちが楽しんで取り組める保育を目指していく。   |
| 3 | 教育内容<br>(教職員体制の充実)        | 教職員一人一人の日ごろの気づきや工夫、保育の方法などについて、自由に話し合える場を作り、様々な情報を共有し学び合える環境を目指す。教職員全員で園児をサポートしていく意識を高める。昨年につづき、学年主任また、指導教諭が中心となり、教職員一人一人が尊重される保育現場を目指していく。 |

## 6.学校関係者の評価(令和3年度自己評価に基づく)

### ○学校関係者評価・意見

前年度重点的に取り組んだ目標・計画の中にある、今まで慣例のように行っていたことを当たり前とせず、新たな改善を試みることは、深く多面的に子どもの観察と状況把握が必要だという事に同感します。

コロナ禍の中、園児の様子をよく見て下さり、それを保育に反映して頂けているのを感じます。また、行事については、その時々状況に合わせてどのような形なら開催できるか、感染対策はどうするかを考えて、コロナ禍以前と同じようにはいかないものの、子ども達の園での様子や頑張る姿、成長した姿をしっかり見る機会となるように開催して頂きました。

年度始めに、各学年の目標・クラスの目標などをまとめた教育課程を配布して下さっているが、日々の教育がそれに沿ったものであることがわかり、家庭でも同じことを意識することができ、子どもたちにとってもとても良いなと思います。

行事の度に提示頂ける『行事の目的、目標』などは、保育の様子を伺う目安として、大変ありがたいと思います。

行事に取り組むときには、細かい配慮が必要となるのでただ行うのではなく、これまでのように何をねらいとするかを大切に、一人一人の子どもの発達や個性などを具体的に理解し、すべての園児がその子なりに達成感を感じられるよう導く事も心に止めて頂きたいと思います。

コロナ禍でも子どもたちの笑顔があふれているのは、先生方の努力によるものだと思います。引き続き子どもたちが、安全に楽しく園生活を送れるようお願い致します。

現在、一斉連絡アプリ(バスキャッチ)を使用している。行事など一斉連絡の際に、より活用していただけたら、保護者との状況の共有がさらにスムーズになると感じます。

働き方改革で掃除の会社を入れ、園の清掃を保つ事や教員のゆとりの時間を生み出せるようになったことは、良い事だと思います。その時間をピアノのレッスンなどにもあてて、付け焼刃の練習にならないように使う等、有意義に活用し教員一人一人のスキルアップにつなげ、園全体の保育の質の向上を心がけて頂けると良いなと思います。

長く国風第一幼稚園に貢献された諸先生方の過去の数々の成功成果、力量を尊重し生かしつつ新しく変化していく事は、とても素晴らしいと思います。

教員一人一人の気づきを尊重し合い、子ども達一人一人を大切に保育できる先生が育っていくよう、指導教員が中心となり教員同士の学び合いを進めていって頂けることを期待いたします。

### ○学校関係者評価

前母の会会長

現保護者会会長

元名古屋文化学園保育専門学校教員園内研修(ピアノ担当)

### 評価者

渡辺 希 様

假屋 千秋 様

加藤 洋子 様